



飯能河原遊歩道 The promenade along the Hannoriver ※この写真は車乗入れ禁止前のものです。

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第2589例会 2014.4.2

—— 雑誌 月 間 ——

天候 晴 (NO. 50-40)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 福島君、細田(伴)君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・ビジター 2013-14年度国際ロータリー第2570地区第3グループ
ガバナー補佐 室伏秀樹様(所沢西)
- ・四つのテスト斉唱 増島職業奉仕委員長
- ・卓話 岡部常高様

【会長報告】

明日、韓国・東清州RC45周年に代表団が出發。山川次年度会長、高橋副幹事、半田会員、矢島(高)会員、木川会員は体調を崩されました。

会報の春用台紙には古い車の写った写真と添え書きがあり、前島会報・広報委員長からこれを変更したいとの提案がありました。今回は飯能在住のプロカメラマン・吉田功氏に頼みましたが、次年度会長、委員長とよく相談して決めて頂きたい。

来月の親睦旅行は参加45名、費用は9万円位。詳細は最終週にお渡しします。

【幹事報告】

高橋副幹事

- ・理事会開催。第10回の議事録確認。会員卓話にも礼を尽すべきとの意見があり謝礼規定を作る事が決定。4/30は吉田(行)委員長、旅行についての卓話に変更。旅行は44名から若干増える見込み。今からでもお申込み下さい。中間決算は順調に推移。
- ・次回理事会は5/14に変更。
- ・中間決算は事務局の負担を減らすため、四半期ではなく上・下の2期で検討。
- ・会報写真は四季全てを入れ替える事で承認。

- ・地区より国際交流に関して地区分担金増額の依頼があり慎重に検討した結果、応じられず、従来通り1人500円とします。
- ・本日、50周年実行委員会、次年度顔合わせ。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢西RC

- ・4/29(火)例会取止 法定休日
- ・5/6(火)例会取止 振替休日
- ・6/24(火)夜間例会(エンディングパーティー)堤新亭

◇入間RC

- ・5/1(木)例会取止 定款6-1-C
- ・5/22(木)移動例会 日帰り美術館巡り 箱根方面
- ・6/26(木)最終例会 夜間移動例会

【委員会報告】

◎社会奉仕委員会

杉田君

小崎環境保全委員長の代行。飯能新緑ツアーデーマーチ、今年は5/25(日)に参加。10名以上の参加なら「飯能RC」で登録されます。

◎国際奉仕委員会

藤原君

シドニー国際大会6/1~8。10名以上参加で1名40~45万円。旅行社はインセンティブ(大阪)。4/16までに希望をお伝え下さい。

【出席報告】無断欠席・MUなし 福島出席委員

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
59名	6名	53名	89.29%	85.71%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・後3か月で任期満了、お世話になりました。
(ガバナー補佐) 室伏秀樹様
 - ・室伏ガバナー補佐ようこそ。本日はよろしくお願
い致します。 吉田(健)君、中里(昌)君
市川(洋)君、細田(伴)君
 - ・岡部様ようこそ。本日は卓話よろしくお願
い致します。 吉田(健)君、中里(昌)君、細田(伴)君
矢島(巖)君、新井君、市川(洋)君、小久保君
馬場君、矢島(高)君、神田(敬)君、吉澤君
 - ・早退 平沼君、本橋君
- 本日計 17,000 円、累計額 1,086,136 円。
◎ 9 日例会当番は橋本、平沼会員です。

【卓 話】

講師紹介

馬場雑誌委員長

飯能市南川ご出身。飯能一中、飯能西中、高麗川中学校の英語教諭を経て、飯能第二、双柳小学校等で校長をされました。姉が「いい先生」大好き」と言っていたのを覚えています。双小では楽しいPTA生活をさせて頂きました。ゴルフも上手。校長を終え、國學院大學で神主資格を取得。その後、立教大学で心理学を専攻。ご先祖に日本で初めて帝王切開をされた医師・岡部均平「発祥之地」の碑が南川に。10月、駿河台大学でご講演の予定。

伊勢神宮について

南川諏訪神社 禰宜(ねぎ) 岡部常高様

昨年、20年に1度の式年遷宮。正殿が新しくなりました。天武朝で制度を決め、持統天皇の4年に内宮、6年に外宮を造ったとの記録があり、今回62回目。莫大な費用が掛かるため必ずしも20年に1度行われたのかどうか。一般人の参拝を禁止していた時代もあったので賽銭もそうは上がらなかった。外宮神主の度会(わたい)家が御師(おんし)として全国を回り「伊勢へ参ろう」という運動を起こし「伊勢参り」が始まったようです。正式名称は「神宮」。「神宮」と言えば「伊勢」の事。他に、皇室と関わりのある神社に「～神宮」と付けられている(例外もある)。内宮の祭神は天照皇大神(あまてらすおほみかみ)、御神体は「鏡」です。天孫降臨の時、邇邇藝命(ににぎのみこと)が天照皇大神から渡された三種の神器～八坂瓊(やさかのか)の曲玉、八咫(やた)の鏡、天叢雲劍(あめむらぐものつるぎ)／後の草薙劍～は天皇である事の証し。今回、伊勢への行幸で戦後初めて神器を持っていかれたようですが本当の「鏡」は伊勢にある。「これを私だと思って祭りなさい」と邇邇藝命に渡されて以来、鏡は宮中で守られていたが、第10代崇神天皇の時、疫病で国民の半分が亡くなる程となり(『日本書紀』)、宮中に祭るのは畏れ多いと、娘の豊鍬入姫命(とよくきいひめのみこと)に託して倭の笠縫邑に祭るわけです。その事が書かれている『倭姫世記(やまとひめせいき)』は、前半、崇神天皇6～58年に祭られたとされる地に形跡が無く、史実ではないとの説もある。豊鍬入姫命は58年、「吾、日足りぬ」と、姪の倭姫命にバトンタッチ、鏡(天照皇大神)を託す。倭姫命は伊勢に来るまで15か所を歩いているが、これは単に良い場所を探していたというよりも別に理由があるのではないかと。当時の都・奈良の周りに良い場所はいくらでもあるはず。回って歩いて行った先々で国造(くにのみやつこ)／豪族がいろいろな物を奉っているので、神宮の経済的基盤が整えられていたのではないかと。垂仁天皇22年、倭姫命の夢枕に天照皇大神が「常世の浪の重浪帰(しきなみのよ)する国なり 傍国(たまたみの)の可憐国(りましき)なり 是の国に居らむと欲(ほ)む」と告げ、伊勢の磯宮(いそのみや)に「齋宮」を興す事となる。



齋宮=皇大神に近侍し祭祀に奉仕する皇女(こうじょ/天皇の娘で未婚者)。後醍醐天皇の時に戦乱のため廃止。

明治以降、神宮には「祭主(さいしゅ)がお仕える。現在は昭和天皇の妹・池田厚子様。今回、式年遷宮にも参加されましたが、ご高齢のため、姪の黒田清子(きよこ)様がお務めされた。

その下の「大宮司」も皇室から出る。「少宮司」「禰宜」「権禰宜」「宮掌(みやのつかさど)」とあり、「出仕(いしゆつ)」には神主の資格はない。

神宮は自給自足。御田(みた): 田んぼ、御塩浜(おしおほま)、御塩焼所(やきどころ)、御園(みその): 畑がある。鯨(あわび)は古くから供物として貴重で『出雲国風土記』にも記載があるが、採る場所は鳥羽の国崎。干鯛は伊勢湾の篠島。毎日朝夕、お食事を作って差し上げる。朝、御饌殿(みけでん)で火を熾すところから始まる。大学で伊勢に1週間の実習に行った時、朝御饌に装束を着けて参加しましたが、外で躊躇(そんざ)して30分程待っていただけでした。

式年遷宮は正殿だけを取り替えるのではありません。内・外宮の正殿は去年終わりましたが、他に、別宮14社、摂社43社、末社24社、所管社34社、別宮所管社8社と、伊勢・鳥羽・松阪・志摩の4市、多気・度会の2郡にも社は点在しており、全部で125社あります。それらを全て取り替えるわけです。建物だけでなく宝物一切を新しくする。正式には「御杣山(みそまやま)祭」として7年前から木曾の木を切る儀式が始まりますが、実は式年遷宮が終わるとすぐに下準備は始まっている。外宮近くに広大な製材所があり、木材は大きな池で水中乾燥。それを上げて最初に八角形から加工して丸くしていく。茅葺き屋根用の茅も1.5m位に切って倉庫に積んであります。金具を加工する金工所もある。そこで働いていた大工さんは神宮の仕事以外やらないとの事でした。20年毎の遷宮は技術継承のためと言われるが、刀の細かいところ、飾り具、組み紐等は継承が難しい。以前は古い物は全て廃棄していたが、前々回位からは大切な物を徴古館に保存するようになった。それで何とか継承しようとしています。美術館もあり、当代一流の美術家の作品が奉納されている。景気が悪くて遷宮出来なくなりそうな時に絵を売って出来るようにという事を承知の上で作品が奉納されている。なかなかそこまで見学する方は少ない。今回、外宮入口のところに「せんぐう館」が新しく出来ました。

食器は土器調整所、機殿(はたどの)は松阪郊外にある。内宮裏手の山に神宮林があり、松を育てていて、実習では間伐も経験した。今回はその材木も使ったようです。

齋宮で使ってはいけない言葉「忌詞(いみことば)」として、仏→中子(なかつこ)、経→染紙(そめがみ)、塔→阿良々伎(あたらぎ)、寺→瓦葺、僧→髪長(かみなが)、尼→女髪長、死→奈保留(なのおる)、病→夜須美(やすみ)、哭→塩垂(しおたれ)、血→阿世(あせ)、打→撫(な)等があります。

平成 26 年 5 月のプログラム

月 日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
5. 7	2,594	卓話「飯能市の高齢者福祉について」 飯能市地域包括センターセンター長 阿部昇吾様	【四つのテスト】 市川(昭)君 伊澤君 [出席]
5.14	2,595	卓話「『天の園』の舞台」 東山(ひむさし)RC野口健吉様・芳賀ヤス子様	【結婚・誕生日祝】 加藤君 神田(敬)君 [プログラム]
5.21	2,596	卓話「鳥獣害の状況と 地域で取り組むべき対策」 埼玉県鳥獣保護員 塩島達三様	木川君 小崎君 [プログラム]
5.28	2,597	卓話「イニシエーションスピーチ」 沢辺(さわべ)老会員 松下(しん)寿夫(しゅ)会員	柏木君 神田(敬)君 [プログラム]

※次週の例会案内は省略。